



気をつけましょう！この季節

■ テニスシーズン到来！

ようやく寒い冬も終わりを告げ、春のテニスシーズンがやってきます。春は空気も人も入れ替わる新しい季節。暖かな陽気に気も緩みがちですが、安全管理は引き締めましょう！

1. 寒暖差に注意

3・4月はまだ三寒四温の季節。昼間暖かくても、夜間は急激に冷え込んだりと、一日の中でも寒暖差があります。気温・室温に応じて、レッスンメニューも工夫しましょう。

2. 新人コーチの教育を

学生コーチの卒業など、コーチの入れ替わりの季節です。また、新入社員コーチのレッスンデビューなども多いと思います。RICE・禁止ドリル・事故発生時の流れなど、新人スタッフの安全管理教育を徹底しましょう。ベテランコーチ・フロントスタッフも安全管理について再確認をする良い機会になります。

3. お客様も入れ替わります

進学や異動などでお客様の入れ替わりも多い季節です。久しぶりに運動する方も多はず。初めてのお客様の体力や運動能力を見極め、無理の無いペースでプレーを楽しんでいただきましょう。汗の量や呼吸、顔色などに注意をし、ママに声を掛けましょう。

4. 体験受講者のケアを

体験レッスン受講のお客様は精神的にも体力的にも不安を抱えています。「ついていけなかったら」との思いから必要以上に頑張り、無理をしがちです。コーチから、「徐々に慣らしましょう」「自分のペースで」などの声掛け、ペース配分をしましょう。

5. コートサーフェースに注意

急激な気温差や湿度によってコート表面が結露する可能性があります。特にハードコートでの結露は滑りやすいので危険です。コートチェックを徹底しましょう。

6. 花粉症の季節です

現代病と言われる花粉症患者は増加の一途をたどっています。くしゃみは目をつぶってしまうので、ラリー中など危険な場合もあります。決定的な対処法はありませんが、花粉対策が施されたスポーツグラスなどもテニスメーカーから発売されています。目の保護にも有効です。

様々なことが動き出す春。
安全管理もリセットしましょう！

■安全管理セミナー開催決定！

締切迫る!!

～次はあなたのレッスンかも！
事故事例による安全対策～

「スポーツに怪我や危険はつきもの。事故は本人のせい」で済まされる時代ではなくなりました。重大事故や安全管理ミスは、経営者のみではなく、コーチ個人の責任をも問われる例が増えています。

テニス施設におけるたった一件の事故が、大きな経営リスクに繋がることがあるのです。

本セミナーでは、テニス施設における事故と対応事例法的解釈や判例、責任範囲などを紹介しながら、安全管理体制構築方法などをお話しいたします。

施設オーナー、スクール経営者のみならず、実際にレッスンを担当するコーチにもぜひお聞きいただきたいと思います。

～開催要項～

日時:平成22年4月6日(火)13時～17時

会場:メルパルク東京 4F孔雀

〒105-8582 東京都港区芝公園2-5-20

TEL 03-3433-7210

JR・モノレール浜松町下車徒歩8分

地下鉄三田線芝公園駅下車徒歩2分

浅草線・大江戸線大門駅下車徒歩4分

参加費:3,000円

講師:有限会社リックスコミュニケーションズ

代表取締役 荒井 永(あらい ながし)氏

申込先:(社)日本テニス事業協会事務局

締切:平成22年3月30日(火)

知っていますか？

施設内に救急セットはありますか？

「もちろんあるよ」という施設がほとんどだと思います。

では、その内容は把握していますでしょうか？

市販の救急箱でも良いのですが、テニスに多いケガや事故に対応していないかもしれません。

擦り傷や切り傷用の消毒薬などは入っていると思いますが、それだけでは足りません。捻挫や骨折時の固定用添え木、テーピング、打撲部位冷却用のアイスバッグなども必要です。一度、救急箱の中身をチェックし、足りないものを買い足しオリジナルの救急セットを組むことをお勧めします。

また、スタッフ全員がその中身を把握しておくことで、万が一の事態にも迅速な対応が可能になります。